

科目名称	病態治療論Ⅲ（消化機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30 時間の内 13 時間
担当教員	吉野 到	授業に関わる 実務経験	☒ 有（医師） ☐ 無	

【1】授業概要

消化機能の作用と障害・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 消化器の構造と機能、消化器機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べることができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☒ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	食道疾患	講義
2	胃・十二指腸の疾患(1)	講義
3	胃・十二指腸の疾患(2)	講義
4	大腸の疾患	講義
5	肝臓の疾患	講義
6	胆管、膵臓の疾患	講義
7	筆記試験	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度などで総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学(5) 医学書院

【7】参考書

【8】受講生へのメッセージ

科目名称	病態治療論Ⅲ（造血機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30 時間の内 9 時間
担当教員	新谷 泰成	授業に関わる 実務経験	☒ 有（医師） ☐ 無	

【1】授業概要

造血機能の作用と障害・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 造血器の構造と機能、造血機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べることができる。
2. 血液を介する感染症について理解し、看護につなげることができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☒ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	血液・造血器総論	講義
2	赤血球系の異常・白血球系の異常	講義
3	造血器腫瘍	講義
4	出血性疾患・血液を介する感染症	講義
5	筆記試験	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 成人看護学(4) 医学書院

系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー・膠原病・感染症 成人看護学(11) 医学書院

【7】参考書

【8】受講生へのメッセージ

科目名称	病態治療論Ⅲ（免疫機能障害）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30 時間の内 9 時間
担当教員	岩崎 正高	授業に関わる 実務経験	☒ 有（医師） ☐ 無	

【1】授業概要

免疫機能の作用と障害・治療について学ぶ。

【2】学習目標

1. 免疫機能の構造と機能、免疫機能障害の症状と病態生理、検査と治療について述べるができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☐ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☒ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	アレルギー	講義
2	膠原病	講義
3	感染症(1)	講義
4	感染症(2)	講義
5	筆記試験	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験、授業態度、学科内容への質問での取り組み、レポート提出、ミニテスト等で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症 成人看護学(11) 医学書院

【7】参考書

スタンダード病理学、シンブル病理学、病理組織アトラス、標準病理学
トラス解剖学、新臨床内科学、新臨床外科学、対照カルテ用語

【8】受講生へのメッセージ